

2022年11月11日
Green Earth Institute 株式会社

国産 SAF の商用化および普及・拡大に取り組む「ACT FOR SKY」に加盟
～ SAF 向けのバイオエタノールの生産技術の実用化を通じて
国産 SAF の商用化と普及・拡大の実現に貢献 ～

Green Earth Institute 株式会社 (以下「GEI」) は、持続可能な航空燃料 SAF (Sustainable Aviation Fuel) の普及・拡大を通じてカーボンニュートラルな空の実現を目指すオールジャパンの取組みである ACT FOR SKY^{※1}に SKY メンバー^{※2}として加盟することになりました。



ACT FOR SKY は、国産 SAF に関する企業や自治体が、それぞれの業態の枠を超えて行動するムーブメントを創出し、国産 SAF の商用化と普及・拡大を実現しようとする活動で、日揮ホールディングス株式会社、株式会社レボインターナショナル、日本航空株式会社 (以下「JAL」)、全日本空輸株式会社 (以下「ANA」) が幹事企業となり、設立された有志団体です。

JAL および ANA がまとめたレポート「2050年航空輸送における CO₂ 排出実質ゼロへ向けて」の中では、



2050年CO₂排出実質ゼロの実現に向けてカギとなる活動として、2030年には最低でも使用燃料の10%をSAFへ移行するマイルストーンが必要であること、2050年にCO₂排出量実質ゼロを実現するためには日本で最大約2,300万KLのSAFが必要という結果が示されています。

現在の世界のSAF生産量は需要の0.03%未満に留まっています。特に、国産のSAFはほとんど生産されておらず、量産と普及が急務であります。

GEIは、2018年からJALの「10万着で飛ばそう！JALバイオジェット燃料フライト」に参画し、2020年3月には古着由来のバイオジェット燃料の生産に成功しています。この取り組みで生産された燃料は2021年2月に国内で初めての国産バイオジェット燃料を使ったフライトに使用されています^{※3}。

現在、GEIは、環境省事業として採択された「廃棄物等バイオマスを用いた省CO₂型ジェット燃料又はジェット燃料原料製造・社会実装化実証事業」^{※4}に取り組みながら、木質バイオマスを原料としたSAF向けバイオエタノールの商用生産技術の事業化を目指しているところです。

SAFには複数の生産方法がありますが、GEIは、ATJ (Alcohol to JET) という製法で、安定供給、低CO₂排出、低コスト化を主眼にSAF生産事業化を目指しており、今後、ACT FOR SKYのメンバーとして、国産SAFのサプライチェーン構築に貢献していきます。

GEIは、「グリーンテクノロジーを育み、地球と共に歩む」を経営理念（ミッション）として、地球の様々な問題の解決に取り組んでおり、ACT FOR SKYでの活動を通じて、SAFの社会実装を進め、脱炭素社会の実現に貢献して参ります。

本件による当社業績に与える影響は軽微ですが、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

※1 ACT FOR SKY URL 「<https://actforsky.jp/>」

※2 SAFのサプライチェーン構築に必要な企業・団体等

※3 弊社ニュースリリース 2021年1月28日「https://gei.co.jp/ja/img/newsrelease/news_20210128.pdf」

※4 弊社ニュースリリース 2022年8月5日「<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04799/43390100/e7b9/41fe/937c/5038f0691b0c/140120220804511566.pdf>」

以上